

「感じよう 森のめぐみと 緑の豊かさ」をテーマに第64回全国植樹祭が25日、天皇・皇后両陛下を迎え、鳥取県で開催された。

鳥取から森づくり発進

第64回全国植樹祭



アカ松の苗をお手植えされる天皇陛下

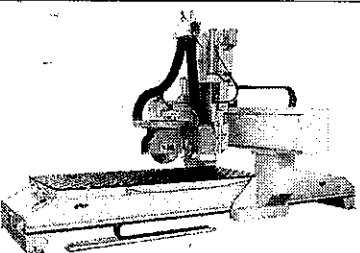
盛り上がり全国都市緑化とつとりフェアへ

当日は好天に恵まれ、式典会場となった名峰・大山の麓のとつとり花回廊(西伯郡南部町)には、みどりの少年団などの関係団体や林業関係者ら約5000人が出席した。

鳥取県の平井伸治知事、式典会場となった名峰・大山の麓のとつとり花回廊(西伯郡南部町)には、みどりの少年団などの関係団体や林業関係者ら約5000人が出席した。

よつとあいつした。天皇陛下はアカ松、スタツイ、コナラを、皇后陛下はヤマボウシ、ウツミズザクラ、ホオノキをそれぞれ丁寧に植えさせられ、クマザサ、ヤマザクラ、イロハモミジ、ヤマガキの

次回は来年、新潟県で開催される。



同システムの加工機となるCNCラッピング機

公共建築物等木材利用促進事業や地域型住宅ブランド化事業などで地域材への関心が高まったが、現状ではエンドユーザー向けの差別化が難しく、安定供給体制などの課題も多い。同協議会では、

木曽川流域材は、同流域思考のもと、木材を筆頭とする同流域の農林水産物をブランド化して経済的にしつかり流通させていくことを目的として設立された。

木曽川流域材は、同流域思考のもと、木材を筆頭とする同流域の農林水産物をブランド化して経済的にしつかり流通させていくことを目的として設立された。

積算ソフト開発の昭和企画(愛知県稲沢市、榎本和男社長)

サイディングプレカット 事業を総合支援 昭和企画

は、外装材プレカットの提案事業の一環として「サイディングCAD/CAM エコカットシステムHS」を6月3日から発売する。CADソフト、NC加工機、コンサルティングの3種類を用意し、個別導入から総合的な支援まで対応する。

初年度の売り上げ目標は1億3500万円

木と住まい研究協会中部支部(愛知県小牧市、杉澤栄支部長)とナイス西日本木材統括部は23日、木曽川流域材のブランド化と流域経済の活性化などを目的とする「木曽川流域 木と水の循環システム協議会」の設立総会を開催し、活動を開始した。川上から川下、異業種にまで至るネットワークを構築し、杉、松など同流域の地域材をブランド化して積極的に住宅等へ活用する体制を確立していく。当初会員は60社程度となる見込み。

木と住まい研究協会中部支部(愛知県小牧市、杉澤栄支部長)とナイス西日本木材統括部は23日、木曽川流域材のブランド化と流域経済の活性化などを目的とする「木曽川流域 木と水の循環システム協議会」の設立総会を開催し、活動を開始した。川上から川下、異業種にまで至るネットワークを構築し、杉、松など同流域の地域材をブランド化して積極的に住宅等へ活用する体制を確立していく。当初会員は60社程度となる見込み。

流通、施工などの木材住宅関連業者のほか行政関係、学術、農商工事業者などで構成する。

設立総会では、協議会の趣旨を説明し、議事では東京大学の有馬孝禮名誉教授(木と住まい研究協会代表理事)、専務理事にはナイス西日本木材統括部の青木良篤統括部長、監事に舟橋植木の舟橋伸治社長が就任した。

なお6月22、23日にポートメッセなごやで開催されるナイスの住まいの耐震博覧会「木と住まいのパビリオン」で、木曽川流域材を使用した家づくりなどを提案する。

同社では外装材のデータを提供する「プレカ/CAMサ小町」を発売している。今回の新業の支援を、ソフト

杉・松などの地域材をブランド化

品質基準やストックヤード設け需要対応

木曽川流域 木と水の循環システム協

アピトン製材 (トラック等 両立材)

ホワイセセラヤ、メラビー挽立材
他多少に拘わらず受注、即納します。